

# プロボノ北海道（任意団体）の概要について

## 1 設立目的

北海道に居住する専門スキルを有する市民を中心に組織し、**プロボノ活動（各種専門家のボランティアによる事業者支援）を通じて、スキルのある高齢者、主婦、失業者等の社会参加、経済参加の場の提供**や、サラリーマンや土業の成長機会の場の提供、多様な人材を活かし合うダイバーシティ型経済活動の普及・啓発、多様かつ複雑化した時代に相応しい**双方型の事業者支援**を目的とする。

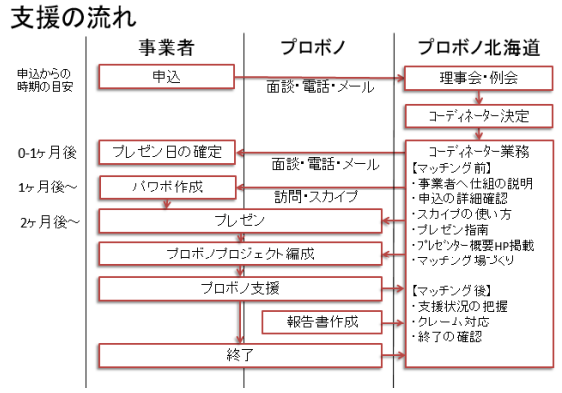
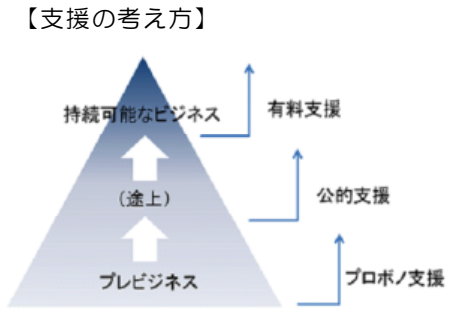
【プロボノとは】  
 「公共善のために」を意味する「Pro bono publico」を語源とする言葉で、各分野の専門家が職業上有している知識やスキル、経験を活かして行う新しい社会貢献活動。

## 2 組織概要

- 【設立母体】 社団法人 北海道中小企業診断士会（ソーシャルビジネス研究会）
- 【設立年月】 平成26年4月
- 【代表者名】 代表理事 中村 文昭（株式会社ネクストビジネス 代表取締役・中小企業診断士） 理事：9名 監事：1名
- 【登録会員】 20名（平成26年9月24日現在）
- 【組織形態】 任意団体（将来的にはNPO法人化も視野に入れている）

## 3 支援内容

- (1) ビジネスの苗床（プレビジネス）支援  
 意欲はあるものの経営資源が乏しく、創業等に向けた十分な支援を受けられない事業者に対して、**マッチング、コンサルティング及びコーチングなどのサービスの提供によりプレビジネスを支援。**
- (2) ソーシャルキャピタルの醸成
- ① 専門家の発掘  
埋もれた専門家（主婦、高齢者など）の発掘、活用。
  - ② 格差是正〔全ての人の社会参加・経済参加を促す〕
  - ③ 人材育成  
プロフェッショナルなスキルの伝授、OJTによる人材育成。
  - ④ 双方向支援〔常に支援する側・支援される側である必要なし〕
  - ⑤ 共創社会の推進〔※プロシューマー型新商品開発など〕
- ※「プロシューマー」とは、consumer（消費者）とproducer（生産者）を組み合わせた造語で、製品の企画・開発に携わる消費者のことをいう。



## 4 活動状況

- 平成26年4月25日 プロボノ北海道設立
- 平成26年6月21日 キックオフ・イベントを道と共催（赤レンガプロボノマッチング）で開催 【参加者：77名】
- 平成26年8月30日 第2回例会・「プレボノ」（将来プロボノ支援を検討している方のアピールイベント）開催 【参加者：20名】